

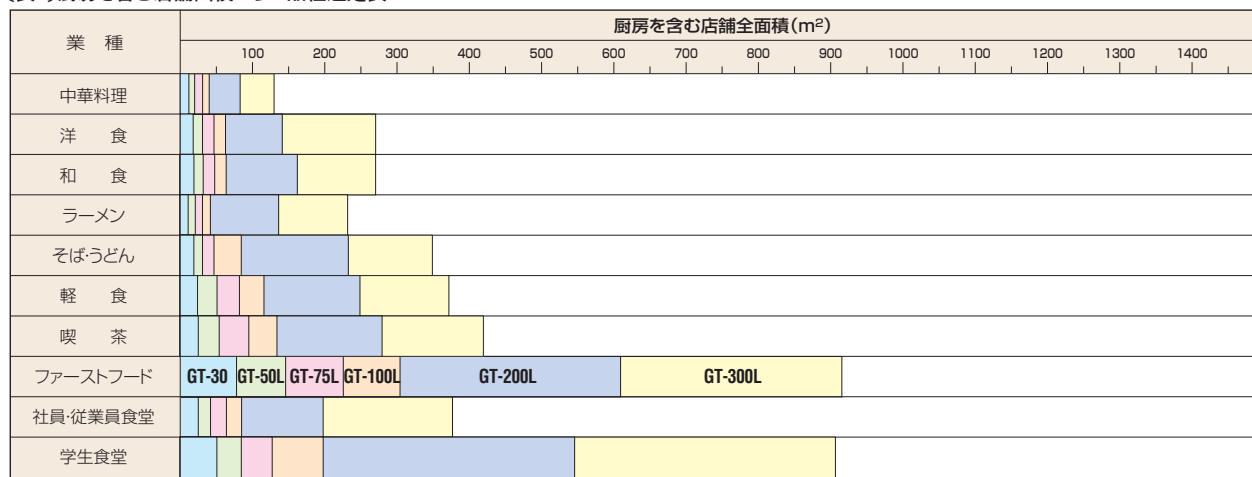
グリーストラップ品種選定表

●表1、表2、表3、表4は「グリース阻集器の選定基準 SHASE 217-2016からの算出」より作成したものです。

〔表1〕厨房を含む最大店舗面積[m²]

品 種	容量 (ℓ)	許容流入流量 (ℓ/min)	標準グリース阻集量 (kg)	中華料理	洋 食	和 食	ラーメン	そばうどん	軽 食	喫 茶	ファーストフード	社員・従業員食堂	学生食堂
GT-30	30	22.5	7	12	18	19	12	19	24	25	78	25	51
GT-50L	50	37.5	11.8	20	31	32	21	31	51	54	146	42	85
GT-75L	75	56.2	17.7	31	47	48	31	47	82	95	227	64	128
GT-100L	100	75	23.6	41	63	64	42	85	116	134	306	85	199
GT-200L	200	150	47.2	83	142	163	137	234	249	281	613	199	549
GT-300L	300	225	70.8	130	272	272	233	351	374	422	921	379	912

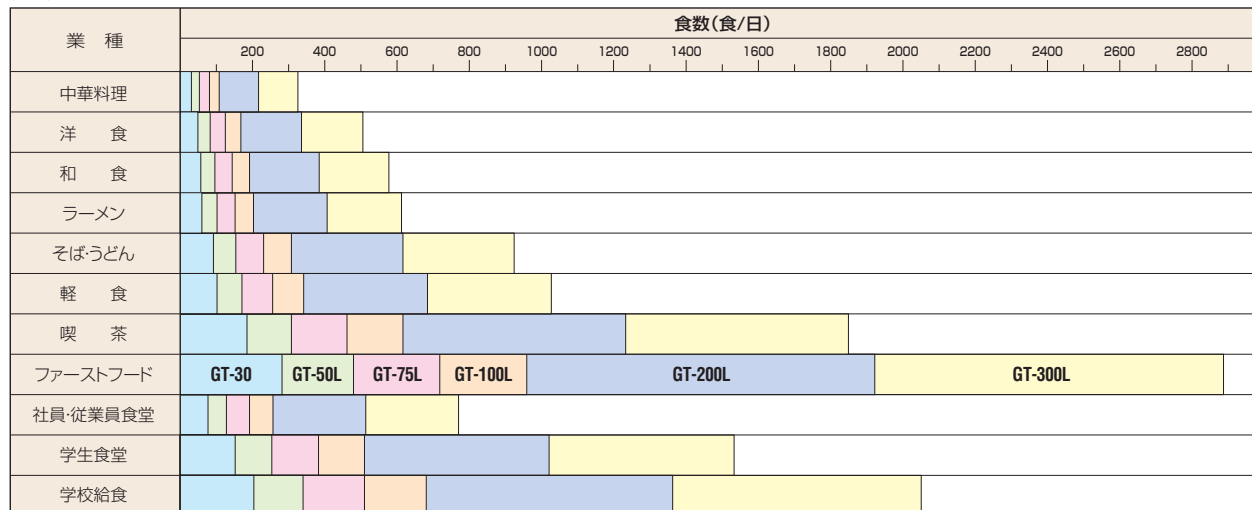
〔表2〕厨房を含む店舗面積からの品種選定表



〔表3〕最大食数[食/日]

品 種	容量 (ℓ)	許容流入流量 (ℓ/min)	標準グリース阻集量 (kg)	中華料理	洋 食	和 食	ラーメン	そばうどん	軽 食	喫 茶	ファーストフード	社員・従業員食堂	学生食堂	学校給食
GT-30	30	22.5	7	31	49	57	60	92	102	185	282	77	154	205
GT-50L	50	37.5	11.8	53	83	96	102	154	171	308	480	128	257	342
GT-75L	75	56.2	17.7	81	125	144	152	231	256	462	719	192	385	513
GT-100L	100	75	23.6	108	168	192	203	308	342	617	960	257	514	685
GT-200L	200	150	47.2	217	336	385	407	617	685	1234	1924	514	1028	1371
GT-300L	300	225	70.8	326	506	578	613	925	1028	1851	2890	771	1542	2057

〔表4〕食数からの品種選定表



小口径マス
パイプサポート
コーキョームス
小型マンホール
雨水マス・雨水浸透マス
ふた
排水ます
取り付けます
雨水マス・雨水浸透マス
ふた
防護ハット
接続部品
阻集器
水栓柱
散水栓ボックス
雨水貯留タンク

グリーストラップ選定容量計算

SHASE 217-2016 グリース阻集器 工場製造阻集器の選定方法に従って選定します。

選定方法

- ①流入流量および阻集グリースおよび堆積残さの質量を求める。
- ②許容流入流量および標準阻集グリースの質量が、①によって求めたそれぞれの値以上となるグリーストラップを選定する。

◆厨房を含む店舗全面積に基づく選定方法

●グリーストラップの流入流量および、阻集グリースおよび堆積残さの質量は次式により求めることができます。

□流入流量

$$Q = A \times Wm \times (n/n0) \times (1/t) \times k \dots\dots(1)$$

- Q : 流入流量[ℓ/min]
- A : 厨房を含む店舗全面積[m²]
- Wm : 厨房を含む店舗全面積1m²・1日あたりの使用水量(表5参照)[ℓ/(m²・日)]
- n : 回転数(1席・1日あたりの利用人数)(表6参照)[人/(席・日)]
ただし、受け渡し当事者間の打合せによって定めてもよい。
- n0 : 補正回転数(表7参照)[人/(席・日)]
- t : 1日あたりの厨房使用時間(表5参照)[min/日]
- k : 危険率を用いて定めた時の流量の平均流量に対する倍率(表5参照)[倍]

□阻集グリースおよび堆積残さの質量

$$G = Gu + Gb \dots\dots(2)$$

- G : 阻集グリースおよび堆積残さの質量[kg]
- Gu : 阻集グリースの質量[kg]
- Gb : 堆積残さの質量[kg]

□阻集グリースの質量

$$Gu = A \times gu \times (n/n0) \times iu \times c \dots\dots(3)$$

- Gu : 阻集グリースの質量[kg]
- A : 厨房を含む店舗全面積[m²]
- gu : 厨房を含む店舗全面積1m²・1日あたりの阻集グリースの質量(表5参照)[g/(m²・日)]
- n : 回転数(1席・1日あたりの利用人数)(表6参照)[人/(席・日)]
ただし、受け渡し当事者間の打合せによって定めてもよい。
- n0 : 補正回転数(表7参照)[人/(席・日)]
- iu : 阻集グリースの清掃周期(受け渡し当事者間の打合せによる)
- c : 定数(=10⁻³)

□堆積残さの質量

$$Gb = A \times gb \times (n/n0) \times ib \times c \dots\dots(4)$$

- Gb : 堆積残さの質量[kg]
- A : 厨房を含む店舗全面積[m²]
- gb : 厨房を含む店舗全面積1m²・1日あたりの堆積残さの質量(表5参照)[g/(m²・日)]
- n : 回転数(1席・1日あたりの利用人数)(表6参照)[人/(席・日)]
ただし、受け渡し当事者間の打合せによって定めてもよい。
- n0 : 補正回転数(表7参照)[人/(席・日)]
- ib : 堆積残さの清掃周期(受け渡し当事者間の打合せによる)
- c : 定数(=10⁻³)

〔表5〕各因子の標準値

記号	内容	単位	中華料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員食堂	学生食堂
Wm	厨房を含む店舗全面積1m ² ・1日あたりの使用水量	[ℓ/(m ² ・日)]	130	95	100	150	150	90	85	20	90	45
t※	1日あたりの厨房使用時間	[min/日]	720	720	720	720	720	720	720	720	600	600
k	危険率を用いて定めたときの流量の平均流量に対する倍率	[倍]	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
gu	厨房を含む店舗全面積1m ² ・1日あたりの阻集グリースの質量	[g/(m ² ・日)]	18.0	9.5	7.0	19.5	9.0	6.0	3.5	3.0	6.5	3.0
gb	厨房を含む店舗全面積1m ² ・1日あたりの堆積残さの質量	[g/(m ² ・日)]	8.0	3.5	2.5	7.5	3.0	2.0	1.5	1.0	3.0	1.0

※1日当たりの使用時間が前もってわかっている場合は、その時間を1日当たりの厨房使用時間としてもよい。

〔表6〕回転数の標準値

食種	回転数 [人/(席・日)]
中華料理	5.0
洋食	4.5
和食	5.0
ラーメン・そば・うどん	5.0
軽食	7.0
喫茶	8.0
ファーストフード	8.0
社員・従業員食堂	4.0
学生食堂	4.0

〔表7〕補正回転数の標準値

厨房を含む店舗全面積(m ²)※	中華料理	洋食	和食	そば・うどん・ラーメン	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員食堂	学生食堂
25					3.3	3.7	3.3		
50				3.1	4.2	4.7	4.2		
75	3.1		2.1	3.9	4.4	5.3	4.4		
100	3.1	2.0	2.3	4.5	4.7	5.7	4.7		
125	3.2	2.1	2.5	4.9	4.8	5.9	4.8		
150	3.3	2.3	2.6	5.2	4.9	6.0	4.9	2.4	2.4
175	3.3	2.4	2.7	5.5	4.9	6.1	4.9	2.6	2.6
200	3.3	2.6	2.8	5.7	5.0	6.2	5.0	2.8	2.8
250	3.4	2.8	2.9		5.1		5.1	3.0	3.0
300	3.4	2.9	3.0					3.3	3.3
400	3.4	3.1	3.2					3.6	3.6
500		3.2						3.8	3.8
600		3.3						3.9	3.9
700		3.3						4.1	4.1
800		3.4						4.2	4.2
1000								4.3	4.3
1500								4.5	4.5

※厨房を含む店舗全面積の値が表中の中間となる場合には、比例補正して求める。

(次ページへつづく)

小口径マス
パイプサポート
塩ビ製
コーキョーマス
塩ビ製
小型マンホール
塩ビ製
雨水マス
雨水浸透マス
塩ビ製
ふた
塩ビ製
ます用
排水ます
ポリプロピレン製
取り付けます
ポリプロピレン製
雨水マス
雨水浸透ます
ポリプロピレン製
ます用
ふた
ポリプロピレン製
防護ハット
特殊接続部品
接続部品
阻集器
水栓柱
研ぎ出し流し
散水栓
メータます
雨水貯留タンク
雨水貯留浸透施設

●グリーストラップ各サイズの許容流入流量および標準グリース阻集量は下表(表8)の通りです。

[表8]グリーストラップ性能表(阻集効率98%における)

品 種	容 量	許容流入流量(ℓ/min)	標準グリース阻集量(kg)
GT-30	30	22.5	7
GT-50L	50	37.5	11.8
GT-75L	75	56.2	17.7
GT-100L	100	75	23.6
GT-200L	200	150	47.2
GT-300L	300	225	70.8

□許容流入流量:槽容量の75%(ℓ/min)

□標準グリース阻集量:許容流入流量×定数(0.315)(kg)

計算例

●厨房を含む店舗全面積225m²の洋食レストランに使用するグリーストラップを選定するとします。

注:条件として厨房を含む店舗全面積、業種の2つが分かれば容量選定を行うことができます。
その他の条件につきましても、わかっているのであれば実際の値を代入した方がより確実です。

P.272の選定方法より、まず

①-1 補正回転数を求めます。

補正回転数は、表7から、厨房を含む店舗全面積が200m²で2.6人/(席・日)、250m²で2.8人/(席・日)なので
225m²の場合は、比例補正により、

$$2.6人/(席・日) + (2.8人/(席・日) - 2.6人/(席・日)) \times (225m^2 - 200m^2) \div (250m^2 - 200m^2) = 2.6人/(席・日) + 0.1人/(席・日) = 2.7人/(席・日)$$

P.272の選定方法より、つぎに

①-2 流入流量およびグリース阻集量および堆積残さの質量を求めます。

□流入流量

P.272(1)式より

$$Q = A \times Wm \times (n/n0) \times (1/t) \times k$$

Q : 流入流量 [ℓ/min]

A : 厨房を含む店舗全面積 [m²] = 225

Wm : 厨房を含む店舗全面積1m²・1日あたりの使用水量 [ℓ/(m²・日)] = 95(表5 洋食より)

n : 回転数(1席・1日あたりの利用人数) [人/(席・日)] = 4.5(表6 洋食より)

n0 : 補正回転数 [人/(席・日)] = 2.7

t : 1日あたりの厨房使用時間 [min/日] = 720(表5 洋食より)

k : 危険率を用いて定めた時の流量の平均流量に対する倍率 [倍] = 3.5(表5 洋食より)

$$\therefore Q = 225 \times 95 \times (4.5/2.7) \times (1/720) \times 3.5 = 173.2$$

□阻集グリースの質量

P.272(3)式より

$$Gu = A \times gu \times (n/n0) \times iu \times c \dots \dots (3)$$

Gu : 阻集グリースの質量 [kg]

A : 厨房を含む店舗全面積 [m²] = 225

gu : 厨房を含む店舗全面積1m²・1日あたりの阻集グリースの質量 [g/(m²・日)] = 9.5(表5 洋食より)

n : 回転数(1席・1日あたりの利用人数) [人/(席・日)] = 4.5(表6 洋食より)

n0 : 補正回転数 [人/(席・日)] = 2.7

iu : 阻集グリースの清掃周期(受け渡し当事者間の打合せによる) = 7日間※

c : 定数 (=10⁻³)

$$\therefore Gu = 225 \times 9.5 \times (4.5/2.7) \times 7 \times 10^{-3} = 24.9$$

□堆積残さの質量

P.272(4)式より

$$Gb = A \times gb \times (n/n0) \times ib \times c \dots \dots (4)$$

Gb : 堆積残さの質量 [kg]

A : 厨房を含む店舗全面積 [m²] = 225

gb : 厨房を含む店舗全面積1m²・1日あたりの堆積残さの質量 [g/(m²・日)] = 3.5(表5 洋食より)

n : 回転数(1席・1日あたりの利用人数) [人/(席・日)] = 4.5(表6 洋食より)

n0 : 補正回転数 [人/(席・日)] = 2.7

ib : 堆積残さの清掃周期(受け渡し当事者間の打合せによる) = 28日間※

c : 定数 (=10⁻³)

$$\therefore Gb = 225 \times 3.5 \times (4.5/2.7) \times 28 \times 10^{-3} = 36.8$$

※iu: 阻集グリースの清掃周期について

基本的には受け渡し当事者間の打ち合わせによって決定することになっております。
今回は標準的な阻集グリースの清掃周期=7日間として計算しております。

※ib: 堆積残さの清掃周期について

基本的には受け渡し当事者間の打ち合わせによって決定することになっております。
今回は標準的な堆積残さの清掃周期=28日間として計算しております。

小口径マス
パイプサポート

塩ビ製
コーキョームス

塩ビ製
小型マンホール

塩ビ製
雨水マス・
雨水浸透マス

塩ビ製
ふた
ます用

ポリプロピレン製
排水ます

ポリプロピレン製
取付けます

ポリプロピレン製
雨水マス・
雨水浸透マス・
アジャスター

ポリプロピレン製
ます用
ふた

防護ハット

特殊接続部品
接続部品

阻集器

研ぎ出し流し・
水栓柱
散水栓ボックス
メータます

雨水貯留タンク・
雨水貯留浸透機

□阻集グリースおよび堆積残さの質量

P.272(2)式より

$$G = G_u + G_b \dots \dots (2)$$

G : 阻集グリースおよび堆積残さの質量 [kg]

G_u : 阻集グリースの質量 [kg] = 24.9

G_b : 堆積残さの質量 [kg] = 36.8

$$\therefore G = 24.9 + 36.8 = 61.7$$

P.272の選定方法より、つぎに

② 許容流入流量および標準阻集グリースの質量が、①によって求めたそれぞれの値以上となるグリーストラップを選定します。

Q : 流入流量 = 173.2 [ℓ/min]

G : グリース阻集量および堆積残さの質量 = 61.7 [kg]

[表8]のグリーストラップ性能表より

□許容流入流量 [ℓ/min] : 173.2 < 225 (GT-300L)

□標準グリース阻集量 [kg] : 61.7 < 70.8 (GT-300L)

よって、今回の場合GT-300Lを選定いたします。

◆食数に基づく選定方法

食数からの容量選定に必要な各因子の標準値を表9に示します。

〔表9〕食数からの容量選定に必要な各因子の標準値

記号	内容	単位	中華料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員食堂	学生食堂	学校給食
W	1食あたりの使用水量	[ℓ/食]	80	80	80	50	50	45	25	10	50	25	15
t※	1日あたりの厨房使用時間	[min/日]	720	720	720	720	720	720	720	720	600	600	480
k	危険率を用いて定めた時の流量の平均流量に対する倍率	[倍]	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
g1	1食あたりの阻集グリースの質量	[g/食]	11.0	8.0	5.5	6.5	3.0	3.0	1.0	1.5	3.5	1.5	0.7
g2	1食あたりの堆積残さの質量	[g/食]	5.0	3.0	2.0	2.5	1.0	1.0	0.5	0.5	1.5	0.5	0.3

※1日当たりの使用時間が前もってわかっている場合は、その時間を1日当たりの厨房使用時間としてもよい。

計算例

●1日あたり100食の中華料理屋に使用するグリーストラップを選定するとします。

①流入流量およびグリース阻集量および堆積残さの質量を求めます。

□流入流量

$$Q = N \times W \times (1/t) \times k$$

Q : 流入流量 [ℓ/min]

N : 1日あたりの食数 = 100

W : 1食あたりの使用水量 [ℓ/食] = 80 (表9 中華料理より)

t : 1日あたりの厨房使用時間 [min/日] = 720 (表9 中華料理より)

k : 危険率を用いて定めた時の流量の平均流量に対する倍率 [倍] = 3.5 (表9 中華料理より)

$$\therefore Q = 100 \times 80 \times (1/720) \times 3.5 = 38.9$$

□堆積残さの質量

$$G_b = N \times g_2 \times i_b \times c$$

G_b : 堆積残さの質量 [kg]

N : 1日あたりの食数 = 100

g₂ : 1食あたりの堆積残さの質量 [g/食] = 5.0 (表9 中華料理より)

i_b : 堆積残さの清掃周期 (受け渡し当事者間の打合せによる) = 28日間 (標準)

c : 定数 (= 10⁻³)

$$\therefore G_b = 100 \times 5.0 \times 28 \times 10^{-3} = 14.0$$

□阻集グリースの質量

$$G_u = N \times g_1 \times i_u \times c$$

G_u : 阻集グリースの質量 [kg]

N : 1日あたりの食数 = 100

g₁ : 1食あたりの阻集グリースの質量 [g/食] = 11.0 (表9 中華料理より)

i_u : 阻集グリースの清掃周期 (受け渡し当事者間の打合せによる) = 7日間 (標準)

c : 定数 (= 10⁻³)

$$\therefore G_u = 100 \times 11.0 \times 7 \times 10^{-3} = 7.7$$

□阻集グリースおよび堆積残さの質量

$$G = G_u + G_b$$

G : 阻集グリースおよび堆積残さの質量 [kg]

G_u : 阻集グリースの質量 [kg] = 7.7

G_b : 堆積残さの質量 [kg] = 14.0

$$\therefore G = 7.7 + 14.0 = 21.7$$

②許容流入流量および標準阻集グリースの質量が、①によって求めたそれぞれの値以上となるグリーストラップを選定します。

Q : 流入流量 = 38.9 [ℓ/min]

G : グリース阻集量および堆積残さの質量 = 21.7 [kg]

[表8]のグリーストラップ性能表より

□許容流入流量 [ℓ/min] : 38.9 < 56.2 (GT-75L)

□標準グリース阻集量 [kg] : 21.7 < 23.6 (GT-100L)

以上の結果より、許容流入流量で見ればGT-75Lでも対応可能ですが、標準グリース阻集量で見るとGT-100Lでなければ対応できませんので、今回の場合GT-100Lを選定いたします。

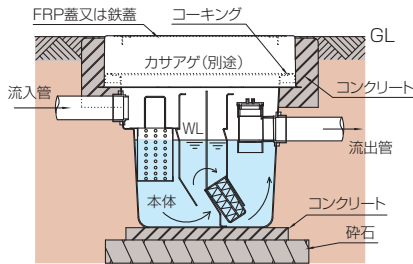
小口径マス
パイプサポート
塩ビ製
コーキョーマス
塩ビ製
小型マンホール
塩ビ製
雨水マス・
雨水浸透マス
塩ビ製
ふた
塩ビ製
ます用
ポリプロピレン製
排水ます
ポリプロピレン製
取付けます
ポリプロピレン製
雨水マス・
雨水浸透マス・
アジャスター
ポリプロピレン製
ます用
ふた
ポリプロピレン製
防護ハット
特殊接続部品
接続部品
阻集器
研ぎ出し流し・
水栓柱・
散水栓・
ホック・
メータます
雨水貯留タンク・
雨水貯留浸透施設

工事店様へ グリーストラップ。施工上の注意

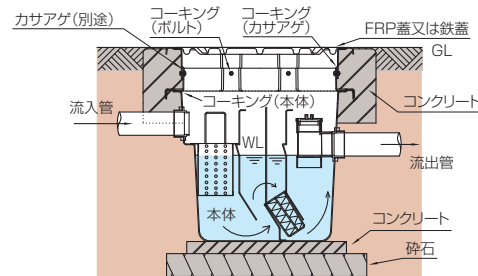
標準据え付け図

●カサアゲ(1470N(150kgf)荷重対応)(別売り)使用の場合

●カサアゲ スライド式(1470N(150kgf)荷重対応)(別売り)使用の場合



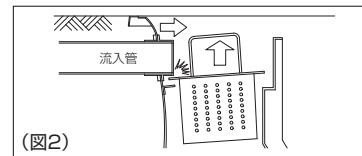
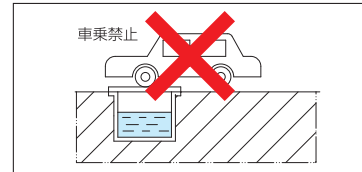
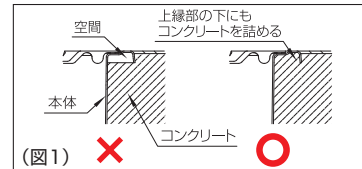
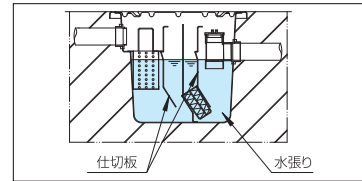
※GT-30のみ流出口がエルボ返しとなっております。



※GT-30のみ流出口がエルボ返しとなっております。

注意

1. 本品は埋め込み施工用です。吊施工はできません。
本体設置後、浮上防止のため必ず水張りをし、またスムーズに水が流れることを確認してください。
2. 本体の周囲はコンクリート巻きを行い、上縁部の下にも確実にコンクリートを詰めてください。(図1)
3. 設置場所は、蓋の開閉及び内部の点検、清掃が容易にできる場所を選定してください。
4. T-2荷重対応蓋以外の蓋は車乗禁止です。車に乗る場所には使用しないでください。
5. 管底距離が不足している場合は別途「カサアゲ」を使用してください。
カサアゲには次の2種類があります。
 - 1.カサアゲ: 1470N(150kgf)荷重対応
 - 2.カサアゲ スライド式: 1470N(150kgf)荷重対応
6. 維持管理に支障をきたす恐れがありますので、高上げ高さは500mm(2段使用)までとしてください。
7. 仕切板の取り外しなどの改造は絶対にしないでください。機能を妨げることになります。
8. 流用・流出配管は勾配2/100以下で施工してください。
2/100を超えて施工すると、流出口が蓋裏側に接触し、蓋が浮き上がることがあります。
9. 局所的な締めめや、無理な配管により流入口が槽内に突出すると、SUSバスケットが流入口に引っかかり取り出せなくなることがありますのでご注意ください。(図2)

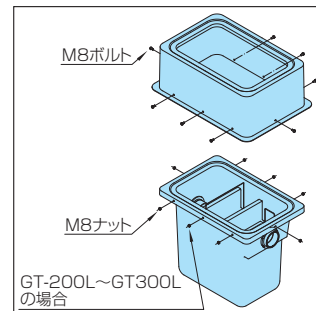


カサアゲ(1470N(150kgf)荷重対応)(別売り)の取り付けについて

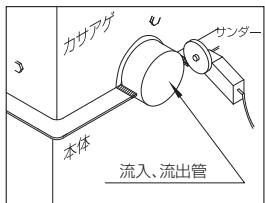
- 1 本体及びカサアゲに9mmの穴をあけてください。(図3)
- 2 カサアゲに付属しているM8ボルト、ナットで本体とカサアゲを固定してください。(ボルトはGT-30~GT-100Lは6本、GT-200L~GT-300Lは8本梱包)
※1 十分なスペースのとれる所で取り付けを行ってください。
※2 流入、流出管に当たる場合はカサアゲの当たる部分をペビーサンダーで切除してください。(図4)
※3 カサアゲの下面は十分に締め固めてください。(図5)
- 3 2段重ねの場合にも同様にカサアゲを固定してください。(図6)
高さの調整は、1段、2段のカサアゲを固定後、1段目のカサアゲで調整してください。
- 4 最後に地中からの不明水を防止するために内側から本体とカサアゲ、同様にカサアゲとカサアゲの隙間をコーキング仕上げしてください。

※ 高さ調整の詳細については、次ページをご参照ください。

(図3)



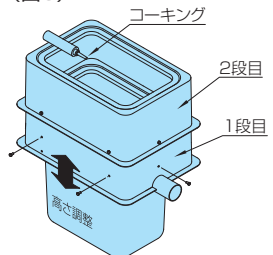
(図4)



(図5)



(図6)



小口径マス
パイプサポート
塩ビ製
コーキョームス
塩ビ製
小型マンホール
塩ビ製
雨水マス・
雨水浸透マス
塩ビ製
ふた
塩ビ製
排水マス
ポリプロピレン製
取付けます
ポリプロピレン製
雨水マス・
雨水浸透マス・
アシヤスター
ポリプロピレン製
ます用
ふた
ポリプロピレン製
防護ハット
特殊接続部品
接続部品
阻集器
水栓柱
水栓出し流し
散水栓ボックス
メータマス
雨水貯留タンク
雨水貯留タンク
雨水貯留タンク

グリーストラップ 清掃手順

グリーストラップの点検清掃を怠ると、本来の機能が発揮できなくなり、配管の目詰り、悪臭の原因になりかねません。定期的な点検清掃をお願いいたします。

毎日
おこなってください。

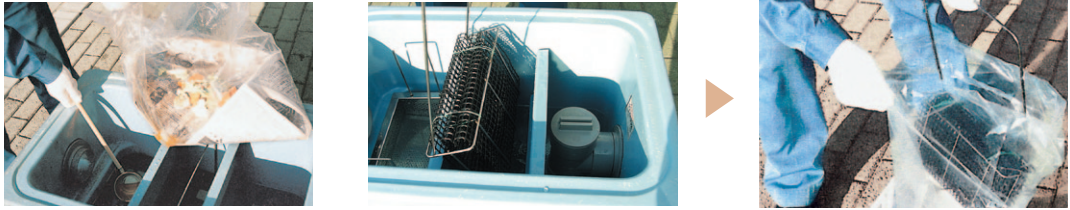
ゴミは、ゴミ取りバスケットをグリーストラップ内から持ち上げ、新聞紙を敷いたポリ袋等に回収します。



1週間に1度おこなってください。

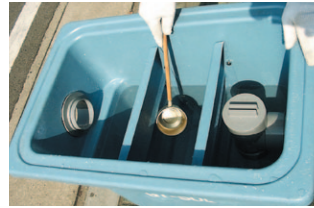
水面に浮いた油は柄杓等ですくい出し、ゴミと同様にポリ袋に回収します。

接触材に付着した油は、接触材を引き出し、ポリ袋の中で振るようして取り除きます。



接触材の汚れがひどい場合は水洗いをします。

2、3槽目に浮いた油も同様に回収します。



1ヶ月に1度
おこなってください。

本体底部に溜まった、沈殿物を網等ですくい取ります。



2、3ヶ月に1度
おこなってください。

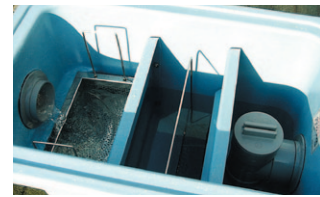
トラップ内部を清掃します。

⚠️注意 掃除口キャップは忘れず元の位置へ。



GT-30のトラップ内部を清掃する時は、流出管側から行ってください。

バスケット・接触材を元の位置に納めて、ご使用ください。



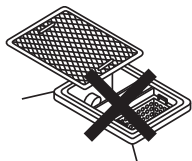
回収した油・ゴミは地域行政の処理方法にしたがって処理してください。

施主様へ

グリーストラップ 使用上のご注意

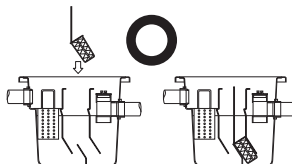
⚠️ 警告

- 掃除の途中でその場を離れるとき、必ず蓋をしてください。

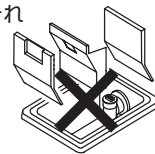
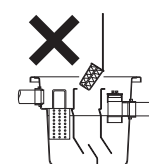


⚠️ 注意

- 蓋の上や近くで紙クズ等を燃やさないでください。
- 接触材は向きに注意して、所定の位置に収めてください。



- 本体内部の仕切板は取り外ししないでください。本体が変形・破損するおそれがあります。



阻集器

研ぎ出し流し、水栓柱、散水栓ボックス、メータます

雨水貯留タンク、雨水貯留浸透施設

小口径マス、バイパスポート

塩ビ製、コーキョーマス

塩ビ製、小型マンホール

塩ビ製、雨水マス、雨水浸透マス

塩ビ製、ます用、ふた

ポリプロピレン製、排水ます

ポリプロピレン製、取付けます

ポリプロピレン製、雨水マス、アジャスター

ポリプロピレン製、ます用、ふた

ポリプロピレン製、防護ハット

特殊接続部品、接続部品